**台風19号災害　復旧への思いと力が結集**

　台風19号による豪雨災害では、市内各所で河川の氾濫により甚大な被害を受けました。

　特に鹿島台地域では、吉田川の堤防決壊による浸水被害が深刻で、今もなお、多くの皆さんが不自由な避難生活を強いられ、不安な日々を過ごしています。

　市では、被災された皆さんの一日も早い生活の再建・復旧に向けて災害復旧推進本部を設置し、各種支援や復旧事業を推進しています。

　また、被災直後からこれまで、姉妹都市、災害時相互応援協定を結ぶ自治体や団体、企業などから人的支援、物資の提供など、心温まる支援をいただきました。

復旧には、広範囲に及ぶ浸水により、散乱、堆積した多量の稲わらやごみの撤去が第一歩でした。泥の除去、清掃、浸水で使えなくなった家財道具の運びだしなど、想像を超えるような大変な作業でしたが、市内外から多くのボランティアが駆けつけ、懸命に復旧作業に協力をいただきました。

　災害ごみや稲わらの撤去には、自衛隊は約１００人体制で、大崎市消防団は市内全域から、全団あげての体制で作業にあたっていただき、皆さんの力に勇気づけられました。

　また、今回の台風19号による豪雨災害には、災害救助法の適用、さらには激甚災害の指定がなされ、国や県からの支援制度の新設や拡充が進められています。

被災された皆さんの生活・生業の再建のため、市では、民間住宅家賃の助成、住宅の応急修理制度、農地、農業用施設の復旧などの支援に取り組んでいます。

　各種の支援情報については、今月の「広報おおさき12月号別冊」や市のウェブサイトで、お知らせしています。

　今号では、市内の被害状況を振り返るとともに、各方面からいただいた、気持ちのこもったあたたかい支援などについて、お伝えします。

市内の被害状況　11月18日 午後5時現在

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 大崎市 | 古川 | 松山 | 三本木 | 鹿島台 | 岩出山 | 鳴子温泉 | 田尻 |
| 避難所 | 人数（最多） | 1,837 | 406 | 245 | 656 | 312 | 85 | 21 | 112 |
| 人数（現在） | 84 | － | － | － | 84 | － | － | － |
| 世帯数（現在） | 35 | － | － | － | 35 | － | － | － |
| 人的被害 | 軽症 | 1 | 1 | － | － | － | － | － | － |
| 住家 | 全壊 | 111 | － | － | － | 111 | － | － | － |
| 大規模半壊 | 34 | 4 | － | － | 30 | － | － | － |
| 半壊 | 229 | 52 | 9 | 11 | 146 | － | － | 11 |
| 一部損壊（準半壊） | 12 | 8 | 2 | － | － | － | － | 2 |
| 一部損壊（10％未満） | 263 | 165 | 17 | 13 | 54 | 1 | － | 13 |
| 床上浸水 ※ | 373 | 56 | 8 | 11 | 287 | － | － | 11 |
| 床下浸水 ※ | 237 | 150 | 17 | 10 | 50 | 1 | － | 9 |
| 公共施設 | 学校教育 | 12 | 3 | 1 | － | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 社会教育 | 11 | 3 | 5 | － | 3 | － | － | － |
| 保育所・児童センター | 4 | 1 | － | 1 | 1 | 1 | － | － |
| 市営住宅 | 21 | － | － | － | 21 | － | － | － |
| その他 | 51 | 21 | 3 | 15 | 6 | 2 | 1 | 3 |
| 農業関連 | 農作物（ha） | 1,568 | 815 | 25 | 182 | 267 | － | － | 279 |
| パイプハウス（ha） | 13.3 | 0.2 | 0.2 | 0.01 | 12.1 | 0.1 | － | 0.7 |
| その他 | 481 | 62 | 40 | 62 | 216 | 36 | 1 | 64 |
| 観光関連 | 観光施設 | 9 | － | 2 | － | 1 | 1 | 1 | 4 |
| その他 | 3 | 3 | － | － | － | － | － | － |
| 道路 | 通行止め（最大） | 177 | 55 | 12 | 22 | 63 | 3 | 9 | 13 |
| 現在 | 3 | － | － | － | 2 | － | － | 1 |
| その他被害 | 倒木 | 102 | 15 | 27 | 10 | 4 | 29 | 4 | 13 |
| 土砂崩れ | 329 | 8 | 58 | 17 | 13 | 77 | － | 156 |
| その他 | 342 | 94 | 53 | 167 | 11 | 13 | 1 | 3 |
| 停電 | 最多 | 920 | － | 850 | 70 | － | － | － |

※床上浸水は「全壊」「大規模半壊」「半壊」のいずれかに、床下浸水は「一部損壊」に含まれます。

写真：①排水作業の後、道路脇に積み上げられた大量の災害ごみ（10月18日撮影：上志田地区）、②・③鹿島台地域志田谷地地区の浸水前後の様子（②10月14日撮影、③10月30日撮影）。

**復旧**

　自衛隊、警察、消防による救助活動、国土交通省、農林水産省のポンプ車による24時間体制の排水活動など、懸命に復旧作業を行っていただきました。

　排水が終わると、ごみや稲わらの処理が復旧の大きな壁となりましたが、自衛隊、大崎市建親会、大崎市消防団、ボランティアの力が結集されたことで、一層、片づけが進みました。稲わらなどをトラックに積み込み、ストックヤードまでの搬入を何度も繰り返し、泥まみれになりながらも復旧に尽力いただきました。

写真：①・②自衛隊員による救助活動、災害ごみの撤去作業（①10月13日撮影、②10月30日撮影）、③・④10月30日から11月1日まで、延べ約130人の大崎市消防団員が、堆積した汚泥・稲わらなどを水路から撤去（10月30日撮影）、⑤陸上自衛隊多賀城駐屯地第22即応機動連隊の皆さんをお見送り（11月1日撮影）、⑥・⑦10月16日から11月15日まで、延べ約2,300人のボランティアが支援（10月18日撮影）。

**支援**

　姉妹都市など、災害時相互応援協定を結ぶ自治体や団体、企業などから多くの人的・物的支援をいただきました。

　り災証明書発行にかかる現地調査、避難所の運営、ストックヤード（災害ごみの一時保管場所）の管理など、被災された皆さんの一日も早い生活再建のため尽力いただきました。

　また、支援金・見舞金や避難所での寝具、飲料水などの物資の支援まで、企業、団体、学校、個人などからたくさん寄せられました。

　皆さまのあたたかい支援・協力に心から感謝いたします。

写真：①ストックヤードに搬入された災害ごみを分別する応援自治体職員（10月30日撮影）、②避難所には、たくさんの団体が炊き出しに訪問（11月7日撮影：山形県最上町社会福祉協議会）、③大阪府田尻町から提供されたテントタイプの間仕切りなど（10月24日撮影）、④宮城野部屋の力士が「ちゃんこ鍋」を振る舞う（11月2日撮影）。

**復興**

　1カ月以上たった今も避難生活を送り、再建の目途がたたない皆さんが多くいます。

　各方面からいただいた支援と志に応えるためにも、一日も早い復旧・復興に向けて、国や県などと連携をしながら各種支援事業に取り組んでいきます。

写真：⑤復興応援 鹿島台互市で、鹿島台商業高等学校の生徒が募金を呼びかける（11月10日撮影）、⑥加藤農林水産副大臣が志田谷地地区を現地視察（10月21日撮影）。